

台風被害で2年ぶり本尊公開



台風による土砂災害でおととしから通れなくなっていた京都市の山あいの寺の参道が先月、開通し、きょう、2年ぶりに本尊が公開されました。本尊が2年ぶりに公開されたのは京都市山科区音羽の山の中腹にある法嚴寺です。

法嚴寺はおとし9月、台風18号による大雨で寺につながる参道で土砂崩れが起き、復旧工事が続けられていました。ようやく先月、一般の車両が通行できるようになり、毎年、春と秋に1日ずつ行われてきた本尊の公開が2年ぶりに行われました。きょうは、ふもとの住民などたくさんの方が訪れ、本尊の十一面千手観世音菩薩の前

で、静かに手を合わせていました。

訪れた60代の男性は「しばらく参拝できなかったのがこうして盛大に公開されたことが感慨深いです」と話していました。

また、住職の田中祥祐さんは「災害の恐ろしさとともにたくさんの方が来てくれたことにうれしさを感じています」と話していました。04月17日 18時14分

